

統計調査功労で、

3人が平成17年度大臣表彰



磯山 寅次さん(下郷)



中村 三喜夫さん(笠間)



渡邊 瑞穂さん(石井)

統計調査に関する長年の功績により、このほど、渡邊瑞穂さん(80歳)、中村三喜夫さん(80歳)、磯山寅次さん(79歳)の3人が、平成17年度の大臣表彰を受けられました。渡邊さんは、昭和25年の国勢調査を皮切りに、数々の統計調査に尽力され、とりわけ、農林業センサスにおける功労で農林水産大臣表彰を、中村さんは、昭和26年の茨城県農業基本調査に始まり、10回に及ぶ農林業センサスの功績から、同じく農林水産大臣表彰を受けられました。

一方、磯山さんは、国勢調査や工業統計調査、商業統計調査など、長年にわたって各種の統計調査に貢献されたことがたたえられ、総務大臣表彰を受けられました。

また、それぞれの豊富な統計知識を生かし、他の調査員の指導にあたり、他にも、統計事務の研究と普及に尽力し、地域における統計調査の発展に大きく貢献されました。

自衛隊による本格指導 消防団大雨対策研修会



自衛隊の指導による初の災害対策訓練

3月5日、笠間ショッピングセンター脇の亀ヶ橋北公園で、笠間地区消防団大雨対策研修会が行われました。

この研修会は、大雨に対する初動体制を確立し、分団相互の連携を強化しようといわれたもので、消防団本部と消防団員の総勢104人が参加しました。

指導にあたったのは、陸上自衛隊(ひたちなか市)から派遣された精鋭7人。水害を想定した状況報告訓練と水防工法研修の後、土のう積みの実技訓練が行われ、団員たちは、ふだん見ることでできない本格的な工法と機能性に、驚きと称賛の声を上げていました。

笑いでまちづくり！ 学生選抜による関東六大学寄席

3月12日、笠間稲荷神社で「関東六大学寄席」が開かれ、落語ファンや家族連れなどでにぎわいました。

寄席の開催を仕掛けたのは、笠間市まちづくり教室の春夏秋冬(あきない)倶楽部。中心市街地活性化事業の一つのテーマとして、「笑い」によるまちづくりを提案し、これまでも、茨城大学落語研究会による出張寄席などを主催してきました。

今回の寄席には、茨城大学・筑波大学など計6校が参加。関東大学落語研究会から選抜された学生落語家10人(うち、女流落語家2人)が次々と高座に上がり、百畳敷きの会場を笑いの渦に巻き込みました。



江戸の長屋を表現する「恋文亭たんめん」さん(青山学院大学)



地図を片手に歩く参加者たち

第20回ともべウオークラリー大会が、2月12日、北川根ふれあい広場を発着点に行われました。参加したのは子どもからお年寄りまでの約160人。スタートの合図とともに参加者たちは、地図を片手に設置された観察ポイントを通り、チェックポイントでは問題を解きながらそれぞれ設定されたコース約3〜5kmを歩きました。家族やグループでまちを再発見し、皆さん楽しい一日を過ごしました。

歩いて 歩いて健康づくり

笠間市国際交流協会 外国人研修生との文化交流に一役

JICA（国際協力機構）研修生のホームステイ協力や、ホームタウン観光通訳ガイド事業の展開など、さまざまな分野で国際交流に貢献する笠間市国際交流協会。3月4・5日の2日間、今年もJICA主催の外国人研修生を受け入れ、異文化の親交に一役買いました。



日本の伝統文化「茶の湯」を体験する研修生

まちの話題

第6代「かさま観光大使」が決まる！

このほど、笠間市の観光イベントや県内外でのキャンペーンを行う、第6代「かさま観光大使」の4人が決定しました。

同大使には、合併によって誕生した新「笠間市」の観光促進に弾みをつけるため、訪れる観光客へのサービスや案内など、今年一年間の活躍が期待されています。

第6代「かさま観光大使」

- ◎甲本 奈緒さん(千葉県松戸市)
- ◎森 まゆみさん(笠間市)
- ◎石川 恵実さん(水戸市)
- ◎萩谷 彩矢香さん(東海村)



左から、甲本 奈緒さん、森 まゆみさん、石川 恵実さん、萩谷 彩矢香さん